

北栄町議会議長 青 亀 恵 一 様

議 長	議 員	議 員	議 員	議 員	議 員
					

委員会名 (議会運営委員会)

北栄町議会議員 青 亀 恵 一

平成 2 5 年北栄町議会調査研究視察研修報告書

1. 日 時	平成 24 年 7 月 22 日～23 日 1泊 2日
2. 調 査 地	島根県隠岐郡海士町
3. 調査内容	・海士町の行財政改革の取り組みについて
4. 意見・感想	<p>海士町の行財政改革の取り組みについて</p> <p>人口流出・減少、また、離島というハンディキャップの背景の中、たいへん厳しい財政状況を踏まえ、平成の大合併を控えた時期に、山内新町長が誕生し、大胆な行財政改革を断行した。まず、職員の意識改革から始め、役場を「住民サービス総合株式会社」とし、現場主義による町づくりに着手した。観光部門の係りを港に置いて、年中無休で対応していることが象徴的である。</p> <p>短期的な経費削減の改革を手始めに、将来の生き残りをかけた中長期の戦略を立てて実行している。地域資源の価値を高めるブランド化として、CAS 技術を導入して旬の海産物を次々と商品化したり、島では当たり前前の食を商品化したり、隠岐牛のブランド化にも取り組み成果を上げている。</p> <p>これらの事業にあたっては、施設は公的資金で建設し、意欲ある民間に貸し出し、事業展開を進めている。また、人材を広く島外にも求め、交流人口の増加により、高校の存続や移住者の増加などで町に活性化を生み出している。</p> <p>ここにも「ピンチはチャンス」の考え方は生きている。今までどおりではない新たな視点での事業展開や町づくりを、覚悟を持って進めるという姿勢は、新たな展開を生む。それが軌道に乗るのは、これからの問題ではあるが、そこから改革がまず始まる。</p> <p>何ができるかの視点ではなく、何をすべきかという視点で、既存の行政の枠を超えた見習うべき事例と感じた。</p>

平成 2 5 年 8 月 2 3 日 (金) 報告締切

受付

第

25.8.23

北栄町議会